

レファレンスコーナー

県立図書館に寄せられたレファレンスの事例を紹介します。



Q. 「我に自由を与えよ、さもなくば死を与えよ」とは、誰の言葉か知りたい。

〔回答〕

アメリカの政治家パトリック・ヘンリーが1775年にバージニア州で行った演説の結びの言葉です。パトリック・ヘンリーはバージニア邦初代知事で、アメリカをイギリスの植民地支配から独立に導いた立役者としても知られています。当時支配を強めようとするイギリスに反発し、アメリカの北部は立ち上がろうとしていました。南部のバージニア州も対応を迫られます。南部の植民地は北部ほど厳しい支配を受けていませんでしたが、大多数が北部の行動に賛同しました。しかし、一部では武力行使に関して反対の立場をとる者もいました。

1775年3月、南部のバージニア州のリーダーたちが方策を議論した際、パトリック・ヘンリーは、武器をとって自由のために戦うべきだと主張します。これが「自由か死か(Liberty or Death)」の有名な演説です。これによってリーダーたちは、アメリカの独立のため行動を起こす具体的な議論へと目を向けていくようになります。演説の後半は次のように結ばれています。

「みなさんは平和、平和と叫ぶかもしれませんが。しかし平和は決してありません。戦争はすでに実際に始まっています。北方から吹きまくる来たるべき強風は、今や私達の身に高鳴る武器のひびきをもたらすであります。私達の同胞はすでに戦場におります。私達は何故ここで無為をむさぼっているのでしょうか。鉄鎖と奴隷化の代価があがなわれるほど、生命は高価であり、また平和は甘美なものでしょうか。私は他の人がいかなる道をとるかは知りません。しかし私に関する限り、**私に自由を与えてください。そうでなければ私に死を与えてください。**」（『アメリカ史「読む」年表事典1』 p391 参照）



キーワード: われに自由を アメリカ 独立戦争 演説

〔調査プロセス〕

1. 国立国会図書館サーチで「われに自由を」の語を使用して検索。該当した資料「世界名演説集」の目次から、パトリック・ヘンリーの言葉と確認。
2. 百科事典等で「パトリック・ヘンリー」を調査。米国独立革命の指導者であると確認。
3. 依頼者からのアメリカの独立戦争に関する言葉らしいという情報を受け、アメリカの歴史資料を調査。併せて名言集資料を確認。

【参考文献】（ ）内は当館請求記号

- 1 『日本大百科全書 21』 小学館 1988年 (R/031/ニ10/1-21)
- 2 『大辞泉 下巻』 松村 明 // 監修 小学館 2012年 (R/813.1/ダイ/2)
- 3 『アメリカ史「読む」年表事典 1』 中村 甚五郎 // 著 原書房 2010年 (R/253/ナカ/1)
- 4 『アメリカを動かした演説』 アブラハム リンカーン // [ほか述] 玉川大学出版部 2010年 (312.53/アメ)
- 5 『世界の故事名言ことわざ 総解説』 江川 卓 // [ほか] 著 自由国民社 2013年 (R/813.4/セカ)



Q. 石川啄木の「不來方のお城の草に寝ころびて 空に吸はれし 十五のころ」という歌の「お城の草に寝ころびて」のところに、異なった表現のものがあるが。

【回答】

ご指摘を受けたのは、川村信二 // 著『心に響く勇気の言葉 100』（日本経済新聞出版社 2011年）に紹介されていた歌。

《不來方のお城のあとの草に臥(ね)て 空に吸はれし十五のころ》(A)
と掲載されていました。一般には

《不來方のお城の草に寝ころびて/空に吸はれし/十五のころ》(B)
として知られています。

スタッフのなかにも (A) の歌も読んだ記憶がある者がおりました。どうやら異なった表現の歌があるようです。

はじめに啄木に関する事柄が単語で引ける『石川啄木事典』（国際啄木学会 // 編 おうふう 2001年）、歌について解説されている『石川啄木歌集全歌鑑賞』（上田 博 // 著 おうふう 2001年）を調べてみました。いずれにも (B) の歌の記述しかありません。

そこで、郷土資料コーナーの啄木文庫の歌集、特に『一握の砂』を中心に再度調査しました。すると『石川啄木集 歌集篇』（和泉書院 1986年）に、(A) の歌が掲載されているのを見つけました。雑誌『スバル』に発表された初出歌と紹介されていました。さらに、児童書の『一握の砂/悲しき玩具』（あかね書房 1967年）にも同様の歌を確認しました。

初出誌とされた雑誌を調べたところ、明治43年11月刊行『スバル（第2年11号）』に「秋のなかばに歌へる」として110首収録された中にこの歌がありました。ただし、《臥(ね)て》は《寝て》と表記されていました。

では、いつから (B) の歌になったのでしょうか。雑誌掲載の翌月に刊行された『一握の砂』初版本を開いてみると、「お城の草に寝ころびて」になっていました。啄木は雑誌発表から僅かな間に、この歌を直して処女歌集に収録したのではないのでしょうか。

キーワード： 石川啄木 一握の砂 スバル 初出歌 お城のあとの草

【調査プロセス】

1. 啄木に関する事典類を調べる。
2. 歌集の当該歌の掲載状況を調査。
3. 雑誌『スバル』を確認。
4. 初版本『一握の砂』を調査、歌の変遷を確認した。



【参考文献】()内は当館請求記号

- 1 『石川啄木集 歌集篇』 村上 悦也 // [ほか]編 和泉書院 1986年 (タク 911.168/イシ)
- 2 『スバル 第2年10～12号』 昴 1910.10～12 (タク 9/3/8)
- 3 『一握の砂』 石川 啄木 // 著 東雲堂書店 1910年 (タク 11/42イ)

※このレファレンス詳細は「レファレンス協同データベース」で公開されています。是非ご覧ください。

「レファレンス協同データベース」 <http://crd.ndl.go.jp/jp/public/>